

1章 はじめに

1. 計画作成の意義

本地域は、函館市と北斗市、七飯町の2市1町からなり、21世紀の国土のランドデザイン、第6期北海道総合開発計画および第3次北海道長期総合計画において、東北地域をはじめロシア連邦極東地域など国内外との交流・連携を推進することにより、青函経済文化圏として今後の発展が期待される地域として位置づけられている。

また、第3次北海道長期総合計画においては、高い都市機能を有する都市を核として道南圏の拠点の役割を担い、発展する地域としている。

本計画は、こうした位置づけを踏まえ、各種計画・構想などとの連携を図りながら、2市1町が一体となって高次都市機能の集積を促進することにより、地域全体の振興・活性化と南北海道の発展をけん引する地方拠点都市地域の形成を図ることを目的として策定するものである。

2. 計画の名称と性格

本計画の名称は、「函館圏地方拠点都市地域基本計画」とする。

この計画は、函館圏を取り巻く社会、経済、文化等の諸環境の変化や南北海道における役割・波及効果を考慮しながら、長期的展望にたった圏域の将来像を具現化していくために必要な広域的・総合的な施策を体系的に定めるものである。

3. 計画期間

本計画は、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とする。

4. 地方拠点都市地域の名称等

(1) 名称

函館圏地方拠点都市地域

(2) 構成

函館市，北斗市，七飯町

(3) 中心都市

函館市

計画区域図

